

平成29年12月25日

安曇野市教育委員会
教育長 橋渡 勝也 様

安曇野市PTA連合会
会長 羽田野 賢二

安曇野市教育長との懇談会開催にあたっての質問書

平素は、安曇野市のPTA活動に対し多大なるご理解とご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、この度は、橋渡教育長様並びに安曇野市教育委員会様にご理解いただき、初めての試みとなります安曇野市教育長様と安曇野市PTA連合会との懇談会の機会を設けていただき誠にありがとうございます。2月8日（木）の懇談会の時期が迫ってまいりましたので本質問書により懇談するテーマを提起させていただきます。

安曇野市PTA連合会では、懇談内容について各小中学校PTA会長からのアンケートにより質問事項を収集し集約を行い、橋渡教育長様並びに教育委員会様に、ご質問やアドバイスをいただきたいと思いますことと取りまとめてまいりました。

以下に提示させていただきますので、懇談会において安曇野市教育委員会様としての見解やご回答をいただきたいと思います。また、今回は各校から提出された質問の中で集約できなかった質問事項につきましてもすべて記載させていただいております。

なお、私どもは教育行政について認識が浅い面がございます。認識間違いや見当違いなどの質問もあろうかと思いますが、各PTA会長が日頃感じている生の声であることをご理解いただき、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

認識間違いなどの点がございましたらご指摘いただければ幸いです。

1. 学校生活中の災害時における危機管理のあり方について

学校生活は1日24時間のうちで3分の1を占めています。その時間を子どもたちが安全に過ごすために、先生方を始め地域や行政の皆さんに多くのご支援・ご尽力をいただき感謝いたしております。しかしながら、自然災害等に加え、昨今の世界情勢からにその時間帯に被災することを想定した上での備えが必要であると考えます。

現在、各校で防災訓練・避難訓練・引き渡し訓練等が行われていますが、実際の被災時には保護者が子どもを引き取りに行くことが困難であることも想定されます。そのような場合、学校で避難生活を行うことも考えられ、それに対応した物品資材の準備が必要かつ急務だと考えます。しかし学校は市の指定避難場所となっており避難者についての備蓄等は市の危機管理課で管理されていると聞きます。そうした状況を踏まえて次の質問をいたしますので、ご回答をお願い申し上げます。

- (1) 安曇野市教育委員会として（危機管理課とは別に）学校時間中に被災した時の児童・生徒・教職員への対応及び学校の災害備蓄について考え方をご教示ください。また、すでにPTA（PTA会費から支出）として備蓄品（特に帰宅困難または帰宅に時間がかかる場合の水・食料1食分）を備えている学校がありますが、今後用意する方向で検討中の学校も出てきております。

ある学校で行われた、災害備蓄品を備えることへの保護者アンケートでの意見として
○市で用意すべき。

○学校で用意すべき。

○学校は市の指定避難場所なので市危機管理課と相談して市内学校統一した対応が必要である。

といった、いずれも市の対応を求める意見が出されています。

この点つきましても、教育委員会としての考え方をご教示ください。

- (2) 児童・生徒が、登下校中に震災・災害・Jアラート等が発生した場合の対応方法や、災害発生時が、休校時の場合の学校側からの安否確認体制など教育委員会としてどのような対策をとられておられるのか、また災害等発生時におけるPTAとしての関わりについてどのようなことを望まれているかご教示ください。

2. たくましい安曇野の子どもを育むための教育環境の醸成とPTAとの関わり方について

安曇野市が目指す教育指針として「たくましい安曇野の子ども」を育むことが掲げられておられます。我々PTAもこの趣旨に賛同し、この目標に向かい一体となり達成に向け邁進いたしているところです。またその実現には、家庭、学校、行政が一体となりしっかりと子どもと向き合うことで醸成されていくと考えております。しかしながらその実現を阻害する要因がいくつか考えられ、危惧しているところがございます。その一つに、教職員の負担増による長時間勤務等が考えられます。長野県教育委員会は、長時間勤務となっている教員の働き方を改善し、子供たちにとって最も大切である授業の質を高め充実するために「学校における働き方改革推進のための基本方針」を策定され過日長野県教委員会・長野県市町村教育委員会連絡協議会・長野県PTA連合会が三者で、「公立小中学校における働き方改革のための共同メッセージ」を公表しました。その中でPTAが担う役割として家庭と学校と地域が果たす役割を再認識するとともに、保護者と教職員が学び合いしっかりとスクラムを組み厚い信頼関係を基盤として、地域ぐるみで子どもを育むために学校における働き方改革を応援するとしております。以上のような観点から以下の質問をいたしますので、ご回答をお願い申し上げます。

- (1) 我々PTAは常に子どもの心に残るような活動を目標として取り組んでおります。子どもの時にどんなことを経験し、どのようなことをすれば心に残ることなのかを含め「たくましい安曇野の子ども」を育むにあたり、教育長様の率直な考えや思いをご教示ください。
- (2) 安曇野市教育委員会様では、安曇野市教職員の長時間勤務や授業以外の負担増の実態についてどのように把握し実態を捉えているのかご教示ください。また、具体的に授業以外にどのような業務に時間が使われているかなどの分析結果がありましたら、ご教示いただくと共に安曇野市教育委員会として今後どのような施策や方針を考えておられるのかを、ご教示ください。
- (3) 教職員の負担増(教員一人あたりの仕事量の増加・授業以外の雑務対応・課題を抱える子どもや家庭への対応・地域活動への対応等)や世帯数減少による地域・学校活動の負担増により「たくましい安曇野の子ども」の育成という理念実現が阻害されることを危惧しております。理念の実現には、家庭・学校・地域の役割は欠かせない役割を担っていると考えますが、先生方の負担を軽減するためにPTAとしてどのような協力ができるのか、またどのような対応が望まれるのかアドバイスをお願いいたします。
- (4) PTA活動は、任意団体とはいえ保護者と先生方が子供たちのために共に活動する組織です。現行制度では、先生方の職務にPTA活動は含まれないと聞きます。土・日・祝日時のPTA活動の参加においては代休での対応ということですが、現学校の体制

下では長期休業時等にとるとはいえ、実質不可能に近い状況で先生方が無料奉仕になってしまうのではないかと心配しております。土・日・休日にしかできない活動の提案は心苦しく、今後のPTA活動の支障となることも十分に考えられます。先生方の土・日・祝日等のPTA活動への参加について休日出勤扱いで手当を支給するなど、安曇野市教育委員会様として現場に即した「子どもたちのため」の独自の対応などの対応策をご検討いただくことができるのかご教示ください

3. 安曇野市の特別支援教育の現状と課題、今後のPTAとの関わり方について

安曇野市の特別支援教育の充実につきましては、多種多様な教育的ニーズに対してすべての子どもが輝く教育を目指して日々ご尽力いただいていること感謝いたします。

PTA内部でも特別支援教育の充実に対して要望をする声がある一方で、特別支援教育に対する理解不足や知識不足を指摘する声も聞かれております。国の方針では、障がいを抱える子どもと共に育ち共に学ぶ「インクルーシブル教育システム」を構築し、共生社会の実現を目指していると聞きます。この実現に向けては、多様な学びの場の保障といった環境の整備と共に障がいに対する正しい理解を進めて行くことも大切な環境整備のひとつであり、今後我々PTAも特別支援教育についてより高い意識を持ち、学んでいくことにより、支援・協力体制を構築していくことが必要であると認識しております。以上の観点より次の質問をいたしますので、ご回答をお願い申し上げます

- (1) 障害を抱えている子供たちや私たち保護者は、市費負担の特別支援教育の先生や支援員の先生方をとても信頼して学校に通い、子供たちの成長に大きな力をいただいております。昨今の情勢から予算を削減されるのではないかとという声も聞こえてきますが、特別支援学級に在籍する児童生徒が増加傾向にあることを踏まえ、継続的な学校配置を願うところでございます。予算による配置人員の削減の方向ではなく、子どもたちの将来自立のための力となる人材確保の方向に大きく進んでいただくことを望みますが、教育委員会様としてその方策と道筋をお示しいただくとともに、安曇野市の特別支援教育において課題がありましたらご教示ください。
- (2) 今後の共生社会を考え、現在、特別支援教育に子どもが直接関わっていない保護者への更なる理解・啓発を進めていくためにPTAとしてどのような協力ができるのか、どのように支援していったら良いかアドバイスをお願いいたします。また、安曇野市教育委員会様としても何か施策があればご教示ください。

4. 児童・生徒の安全確保について（各地区での危険箇所改善要望に関して）

- (1) 地区を通して、毎年通学路等のガードレールや街路灯の設置を要望していますが施工されない場所が多いのが現状です。改善が進まないのは予算的なのか、調査し必要なしとの判断なのか、理由があって放置されているのか等、具体的な返事や説明が無いので毎年同じ要望を繰り返しています。具体的な目安となるご回答をご教示くださいますようお願いいたします。
- (2) 通学路に指定されている道路で、道幅が狭く交通量が多いなど危険であると感じる道路について、道路拡幅等の改良や時間帯による交通規制や注意を呼び掛ける看板等の設置など早急に対応をお願いしたい箇所がある場合、どのようなルートでお願いするのかご教示ください。

5. その他、疑問に思っていること等

- 授業内容の増加や様々な学習・活動が増加している現状で授業時間数が足りているのが疑問です。現在の中学3年生が大学入試にあたる時から大学入試センター試験の制度も変更になり、高校入試もそれに合わせて変化してきていると聞いています。現状で授業時間が不足しているのであれば、さまざまな調整が必要だと思いますが将来的なことを考えると土曜授業の復活も必要ではないかと考えます。安曇野市独自で検討・実施は可能なのでしょうか。ご教示ください。
- 親子間のコミュニケーション不足を感じています。親子で学ぶことのできるコミュニケーションといったような体験型の研修会の開催および講師の紹介等を行う部署はありますか。
- 子どもたちが社会で活躍するときに必要な、マナーの学習・人権学習・体験学習や道徳等の時間を増やしてもいいのではないかと考えます。ご検討いただければと思います。
- 穂高プールについて廃止の方向が示されていますが、小学校の夏休みのプール開放も縮小傾向の中、その役割は非常に大きいと思っております。子どもたちの遊び場を容易になくさないよう、プールの存続を含めた再議論を是非行っていただきたいと願います。市民・子供たちの声を大切に捉えた方向性をお示しいただきたいと願います。現状廃止は逃れないのかご回答いただければ幸いです。
- 地震体験車を使用させていただくにあたり、申請する機関が分かりませんでした。結局、今年度は断念いたしました。何か必要な時に行政で頼る部署や機関が分かりません。PTA活動に必要な場面で迷ったときにはまずほどの部署にといったような一覧などはあるのでしょうか。
- 学校での予防接種（インフルエンザなど）を希望者だけで良いので実施することは可能なのでしょうか。毎年流行する前に安曇野市で実施すればワクチン確保の可能性が高くなり、流行する時期に患者を減らす対策になると考えます。
- 教職員の移動はどのように決まるのでしょうか（年数など）。また、クラス担任の人事については、どのような点を考慮して行われているのでしょうか。
- 児童たちのトイレの改修を検討していただきたいと願います。（和式から洋式へ）
- プールに日除けの屋根の設置を検討いただきたく思います。

ご提示いたしました内容は、それぞれ独立した問題ではなく、背景にある共通した社会環境が要因であったり、これまでに安曇野市でなされた検討会議等で一定の方向性が示されているものも多いことと想像しております。

ご回答をいただいた後、それぞれのテーマの垣根を越えより広い視点での意見交換をさせていただきたいと願います。

当日の進行は、子どもたちの置かれている現状をより深く正しく認識し、その改善方針について意見を伺い、子どもたちの希望的な未来を見出していけるような懇談となるよう心掛けてまいりたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。